

『立教大学日本学研究所年報』第十三号 (二〇一五年八月)

巻頭言 深津行徳 1

特集① 二〇一四年度国際シンポジウム

日本と東アジアの〈伝文学〉と天竺世界

シンポジウム「日本と東アジアの〈伝文学〉と天竺世界」 小峯和明 4
開催概要・発表要旨 5

特集② 二〇一四年度研究例会

〈異域〉をめぐる文学——異域から日本を考える——

開催概要・発表要旨 16
蝦夷、琉球をめぐる異国合戦言説の展開と方法 目黒将史 19
『奥匈幽霊集録』における神——モンゴルの侵略を通して—— 佐野愛子 29
日持上人の海外布教説と源義経 小此木敏明 39
福地桜痴の「文学」観成立の背景——父苟庵の教えと交友関係—— 丹羽みさと 49

研究論文

大山喬平氏のムラ論と土地問題 蔵持重裕 60
〈例外〉の物語——森鷗外「高瀬舟」論 高野奈保 69
日中韓国際共同制作作品『祝／言』における「風」と「結び目」——3・11をめぐる多言語演劇—— 松本和也 79
近現代における「指示・命令表現」について——江戸期から平成期へ—— 高澤信子 90

二〇一四年度活動記録 98
編集規約 99
編集後記 100